

川 崎 横 浜



地域ワイド

報道部
☎045(227)0140
読者広報センター
☎045(227)0080
川崎総局
☎044(222)4455

もの売る魅力 満喫

川崎「こどもゆめ横丁」

廃材で店舗、手作り品PR



子どもたちが商売に精を出した「こどもゆめ横丁」

川崎市高津区の市子ども夢パーク

子どもたちが店を並べて手作り品を販売する「こどもゆめ横丁」が6日、川崎市子ども夢パーク(同市高津区下作延)に出現した。市内の小学生ら約130人が参加し、もの売る楽しさや難しさを体験した。同パークの主催で6回目。

(鴻谷 創)

「いらっしやいませー」「おいしいですよー」。この日のためだけにつくられた「商店街」に、子どもたちの活気ある声が響き渡る。手作りのドーナツやアクセサリーを買ってもらおうと、子どもたちは懸命に商品をアピール。ポップコーンやうどん、雑貨など39の出店が並び、多くの客で

にぎわった。

2回目の参加という小学4年生の片平宙瑠(9)はニンジンやおからの入ったドーナツを販売。「お菓子の作り方を紹介するなど工夫している。売るのは難しいけど全部売り切りたい」と張り切っていた。

子どもたちは3週間かけて、廃材を使って店舗をつくるなど準備を進めてきた。大人の手を借りず、70円以内で販売するといったルールを設定。もうけの1割を「横丁税」として納め、使い道を出店者で話し合う。

同パークの西野博之所長は「子どもたちには、協力して出店する面白さ、実際に商売をする楽しさや大変さを知ってほしい」と話していた。